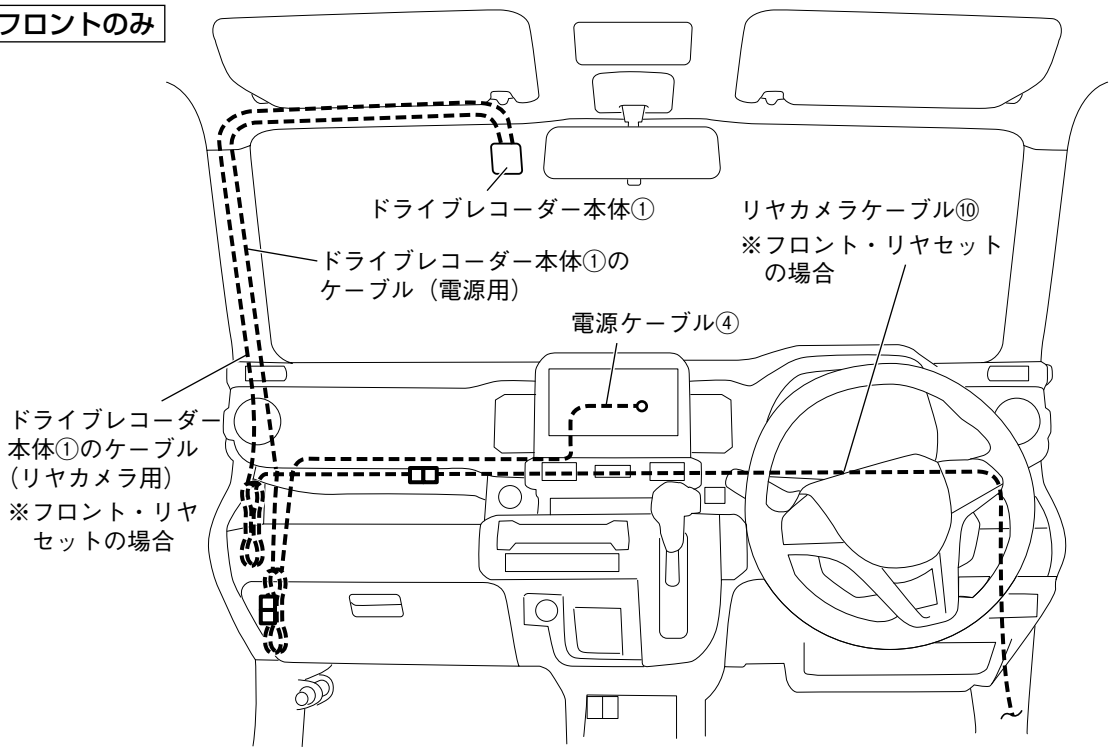
■ クロスビー

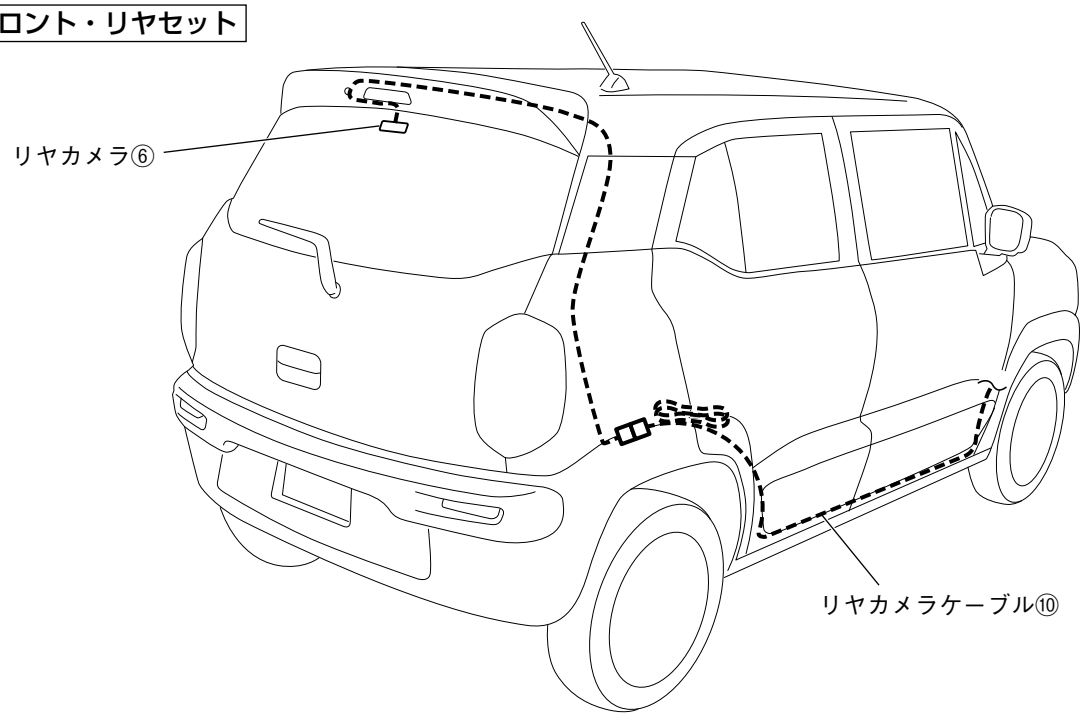
アドバイス
本説明書は「フロント・リヤセット」、「フロントのみ」の２つの製品の取付方法について記載しています。タイトルや本文に記載しているコメントを参考にして、それぞれの製品の取り付けを行ってください。

1. 取付概要図

フロント・リヤセット
フロントのみ

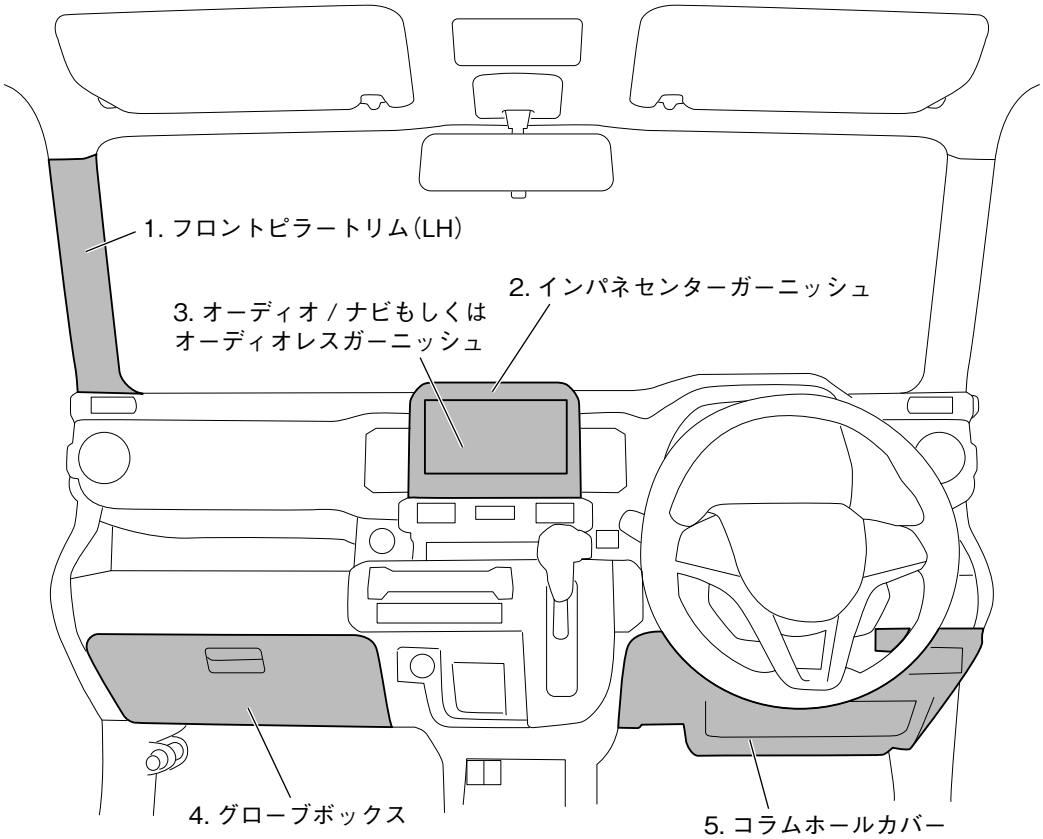


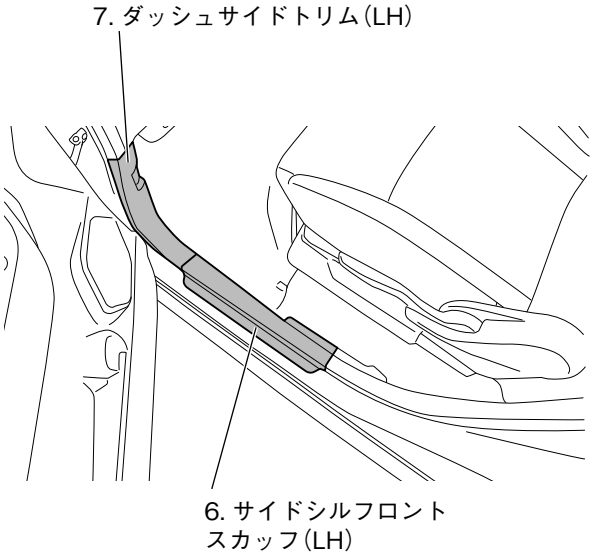
フロント・リヤセット



2. 車両部品の取り外し

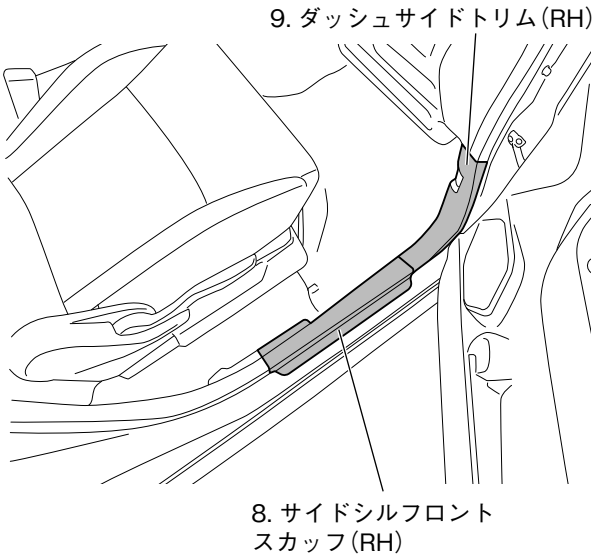
1. 図中の番号順に車両部品を取り外します。

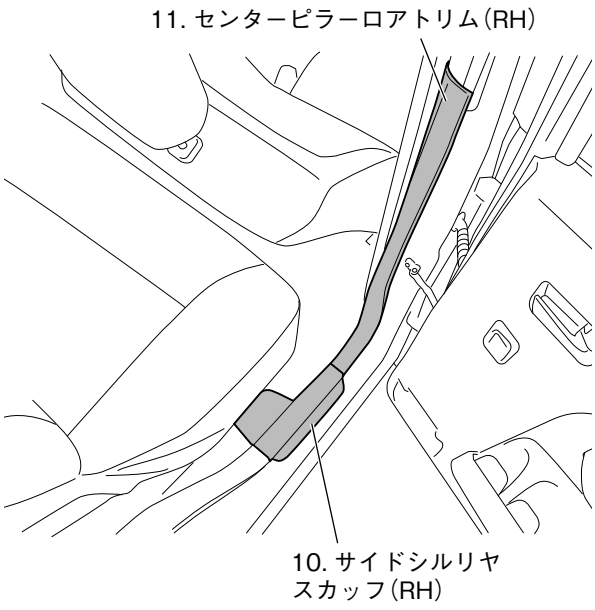


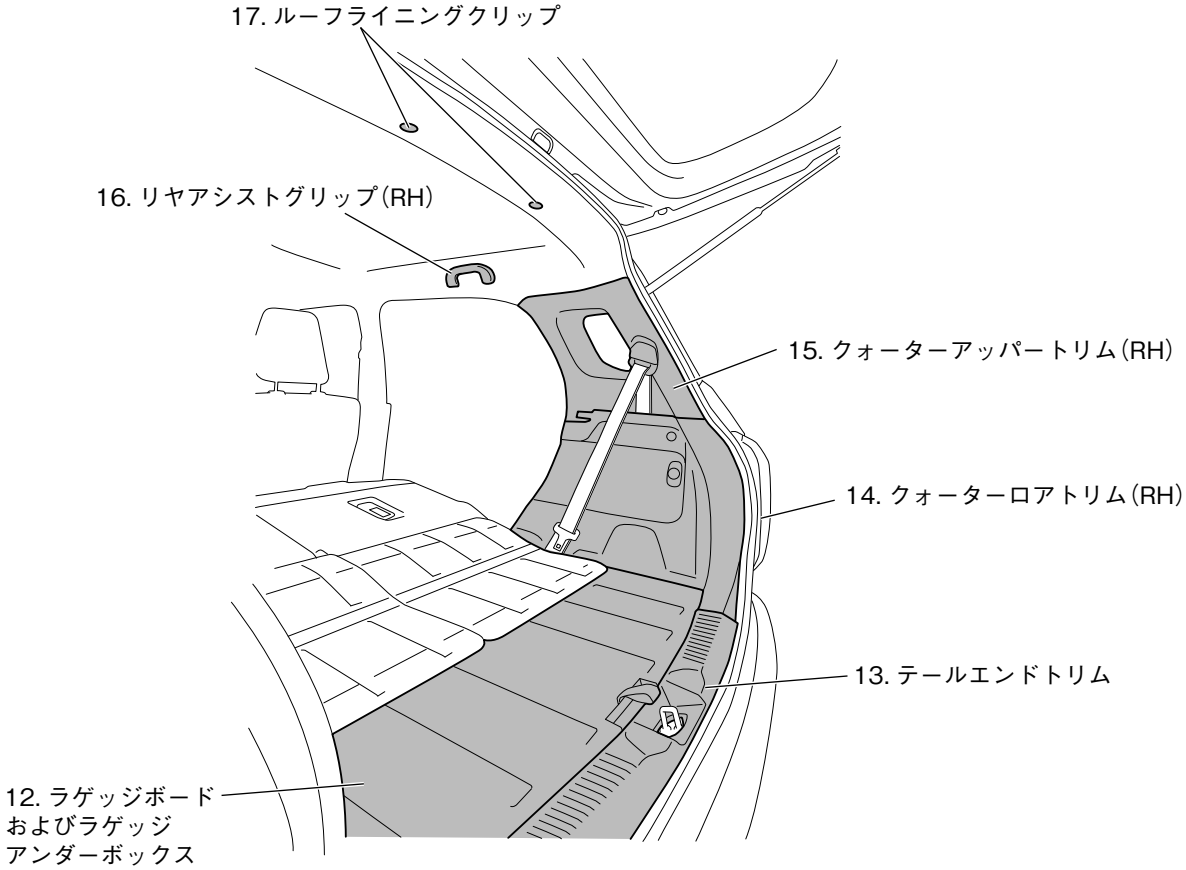


アドバイス

「フロント・リヤセット」時は、以下の車両部品も取り外してください。





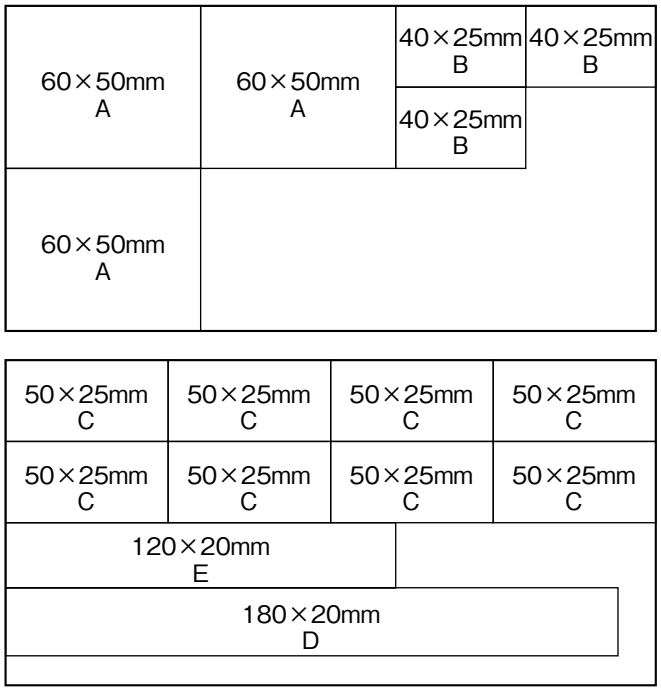


3. 取付前の準備

a. クッションテープおよび保護シートの準備　フロント・リヤセット　フロントのみ

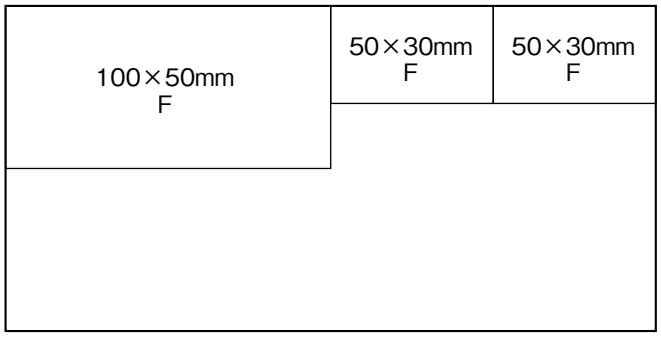
●フロント・リヤセットの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫



1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。
   A：コネクター接続部巻き付け用
   B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用
   C：ケーブル固定用
   D：リヤカメラ⑥のケーブル巻き付け用
   E：余長束ね用

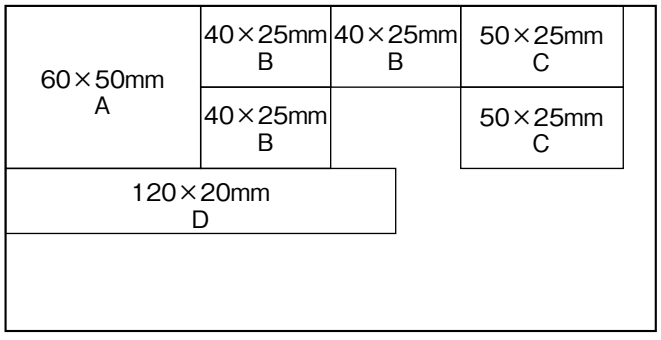
保護シート(200×100mm)⑬



2. 保護シート⑬を左図のようにカットします。
   F：エッジ保護用

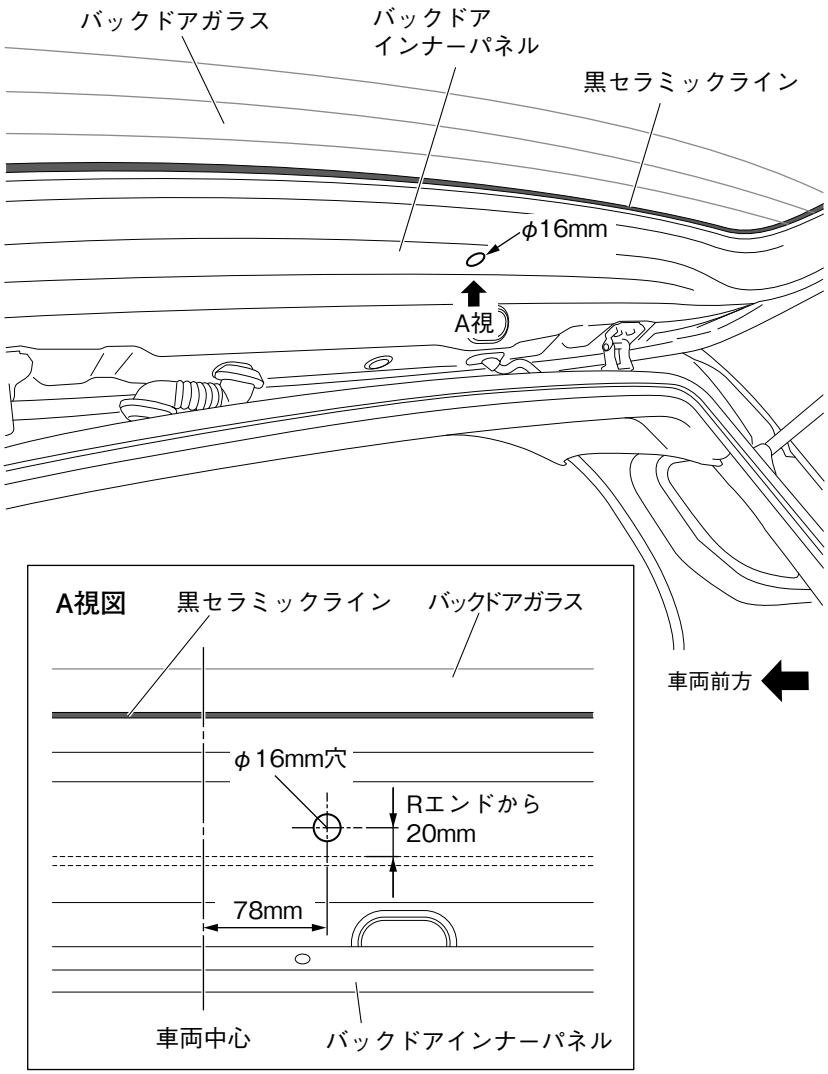
●フロントのみの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫



1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。
   A：コネクター接続部巻き付け用
   B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用
   C：ケーブル固定用
   D：余長束ね用

b. バックドアインナーパネルの穴開加工 フロント・リヤセット



1. バックドアインナーパネルの図示位置にケーブル通し用の穴（φ16mm）を開けます。

⚠警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

⚠注意

電動ドリル使用時は、巻き込み防止のため手袋を着用しないでください。

注 記

- **車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。**
- **切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。**
- **ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。**
- **ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。**

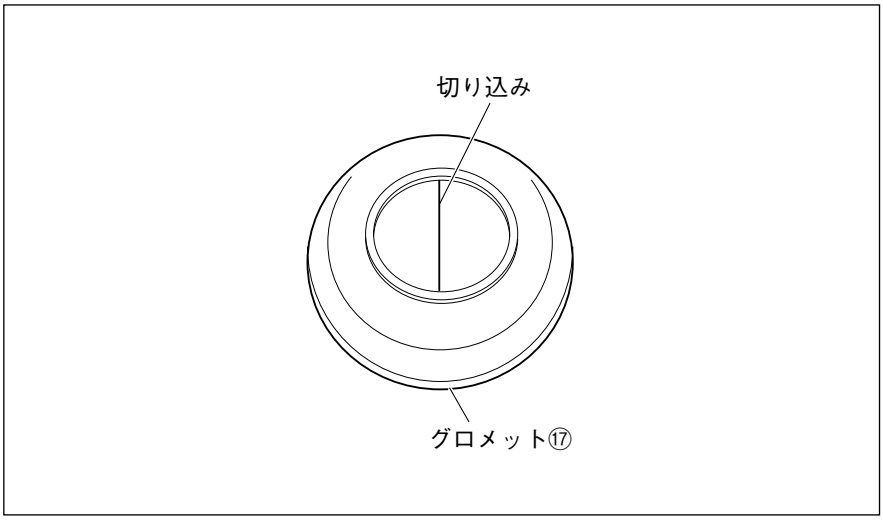
2. 穴あけ加工部をヤスリでバリ取り処理します。

注 記

- **ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボデーに傷が付かないようにしてください。**
  また、ヤスリでハーネス等を傷付けないようにしてください。
- **バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。**

3. 穴あけ加工部の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

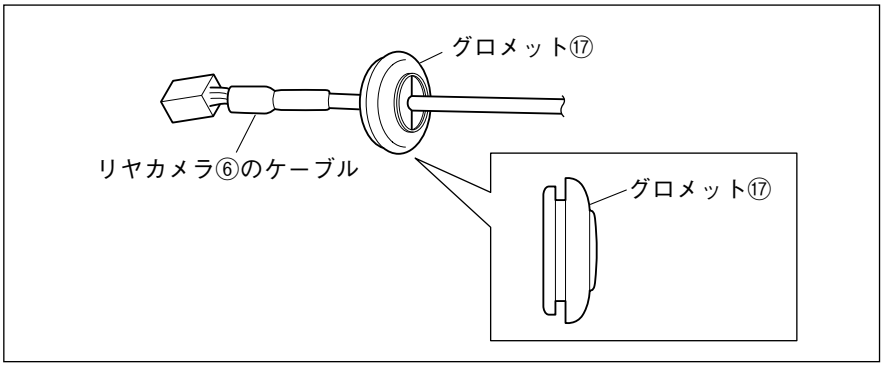
c. グロメットの加工　フロント・リヤセット



1. グロメット⑰に切り込み加工します。

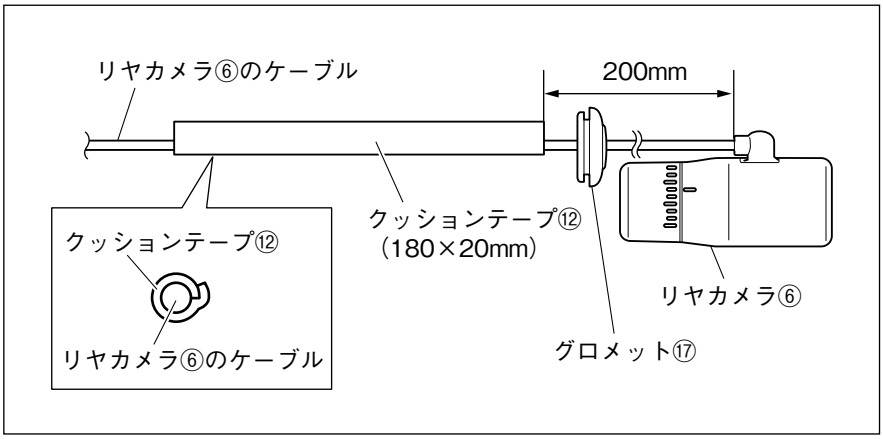
⚠注意
切り込み加工時は、ケブラー手袋を着用してください。

d. リヤカメラのケーブルの準備　フロント・リヤセット



1. グロメット⑰にリヤカメラ⑥のケーブルを通します。

注記
- **グロメット⑰は、図の向きで取り付けてください。**
- **リヤカメラ⑥のケーブルをグロメット⑰内に通す際は、破損防止のため無理に引っ張ったりしないでください。**



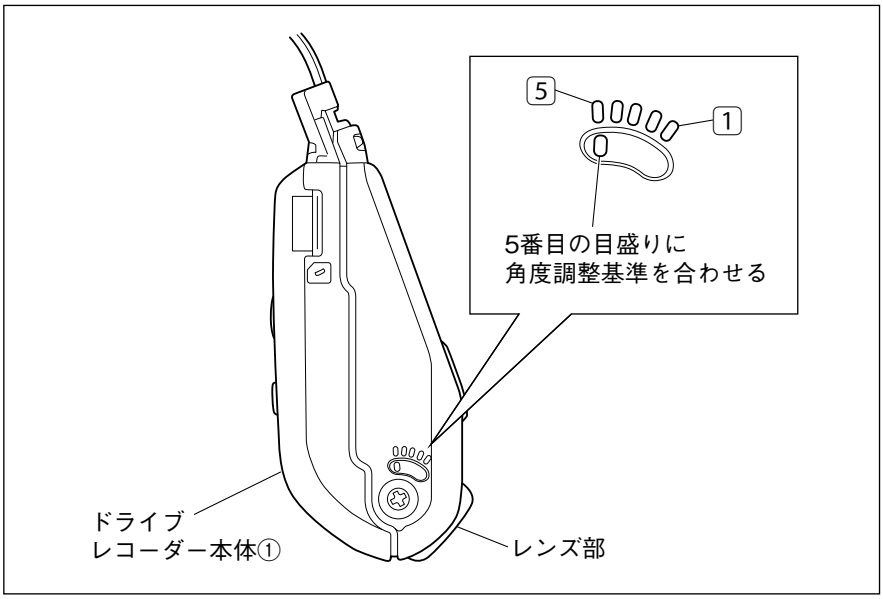
2. リヤカメラ⑥のケーブルの図示位置にクッションテープ⑫を貼り付けます。

注記
クッションテープ⑫の貼り付けは、グロメット⑰を左図位置まで移動してから行ってください。
クッションテープ⑫を貼り付けた後グロメット⑰を移動すると、グロメット⑰が破損するおそれがあります。

4. 取付要領

a. カメラ角度調整　フロント・リヤセット　フロントのみ

●ドライブレコーダー本体



1. ドライブレコーダー本体①のレンズ部の角度を左図位置に固定します。

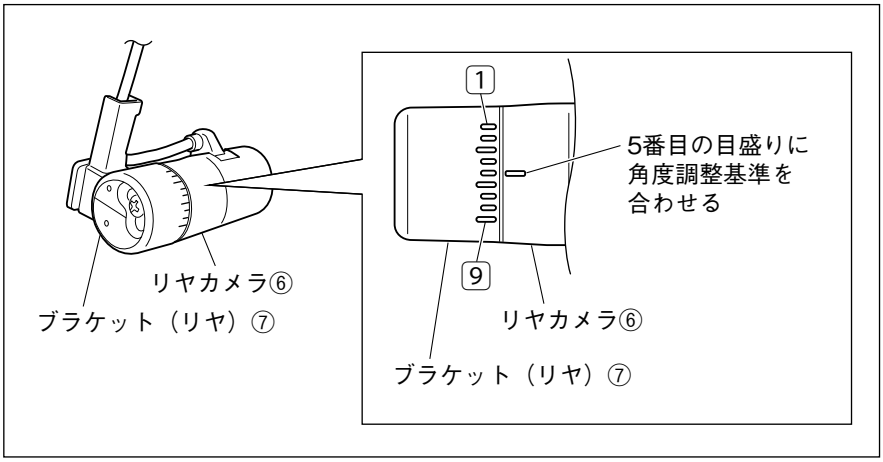
注 記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

アドバイス

ドライブレコーダー本体①レンズ部の角度調整方法の詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

●リヤカメラ



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」時のみ行ってください。

1. ブラケット（リヤ）⑦をリヤカメラ⑥に組み付け、左図位置に固定します。

注 記

- 取り付け後の本体位置ずれ・傾きを抑制するため、共通編 21 ページに記載しているケーブル引き回しの作業内容を参照の上配線してください。
- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

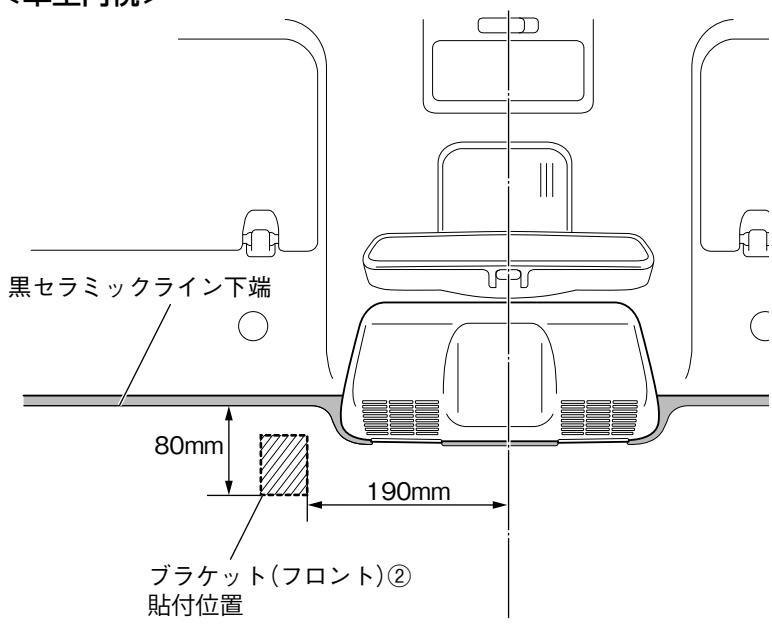
アドバイス

ブラケット（リヤ）⑦の組み付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの組み立て>」を参照してください。

b. カメラ取付位置 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体

＜車室内視＞



1. ブラケット（フロント）②をフロントガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- 取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- 接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- 気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

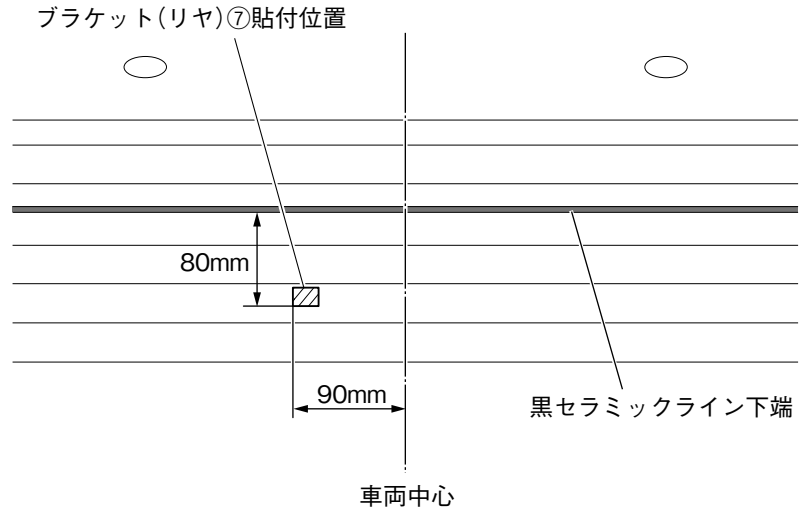
アドバイス

ドライブレコーダー本体①、ブラケット（フロント）②の取り付けの詳細は、共通編の「＜ドライブレコーダー本体の取り付け＞」を参照してください。

2. ドライブレコーダー本体①をブラケット（フロント）②に取り付け、ネジ(M3 × 5.5mm)③で固定します。

●リヤカメラ

＜車室内視＞



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」時のみ行ってください。

1. ブラケット（リヤ）⑦をバックドアガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- 取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- 接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- 気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

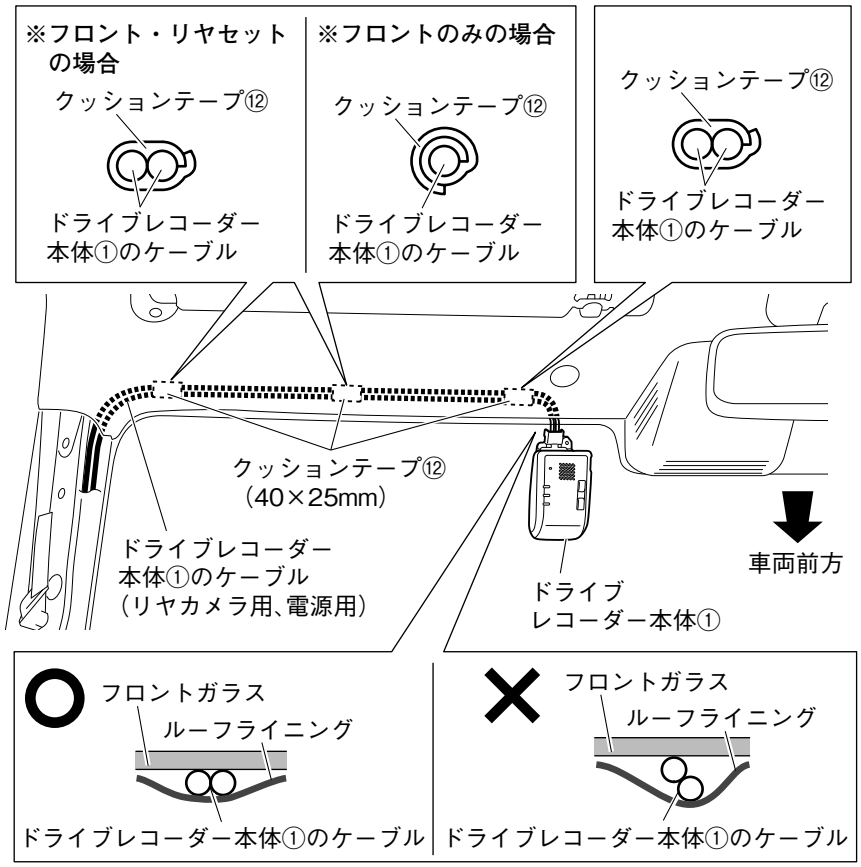
アドバイス

リヤカメラ⑥、ブラケット（リヤ）⑦の取り付けの詳細は、共通編の「＜リヤカメラの取り付け＞」を参照してください。

c. ドライブレコーダー本体のケーブル（リヤカメラ用、電源用）配線

フロント・リヤセット　フロントのみ

＜ルーフライニング部の配線＞



注記

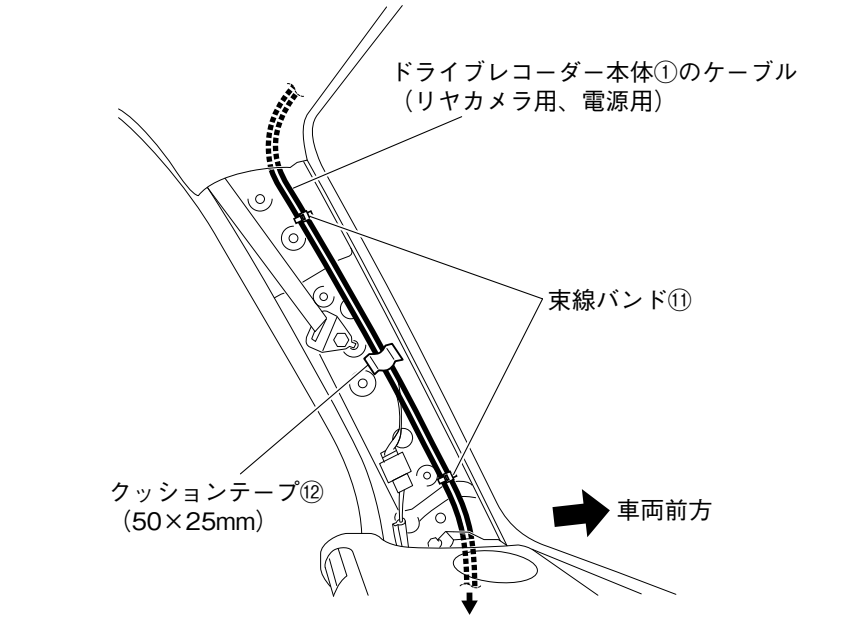
「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）の配線作業はありません。

1. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）にクッションテープ⑫を巻き付けます。
2. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をルーフライニング内に入れ込みながら、フロントピラー部へ配線します。

注記

ルーフライニング引込部のドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）はフロントガラスと並行になるようにしてください。

＜左側フロントピラー部の配線＞



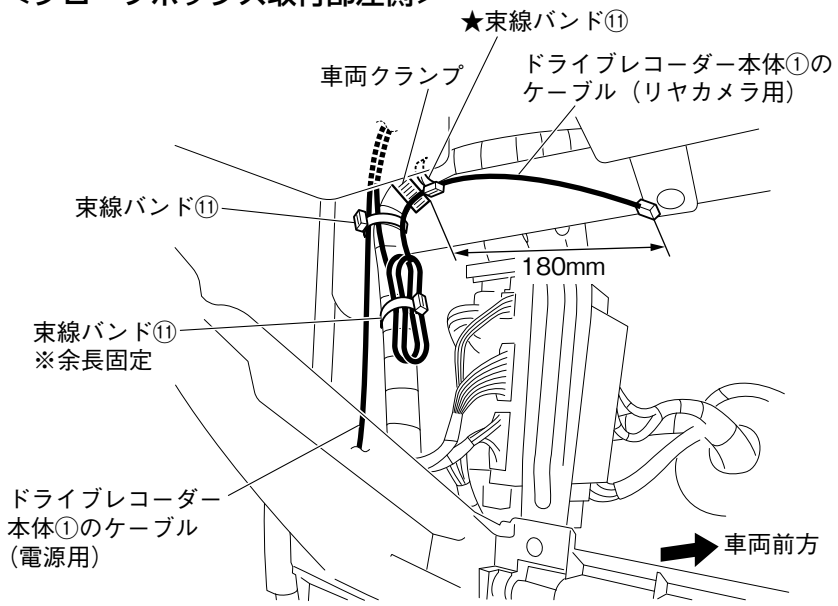
3. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をフロントピラーにクッションテープ⑫と束線バンド⑪で固定しながら配線します。

注記

- ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）およびクッションテープ⑫は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- クッションテープ⑫でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

4. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をフロントピラーとダッシュボードのすき間からグローブボックス取付部に配線します。

<グローブボックス取付部左側>



5. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
6. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）のコネクター部を図のように束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

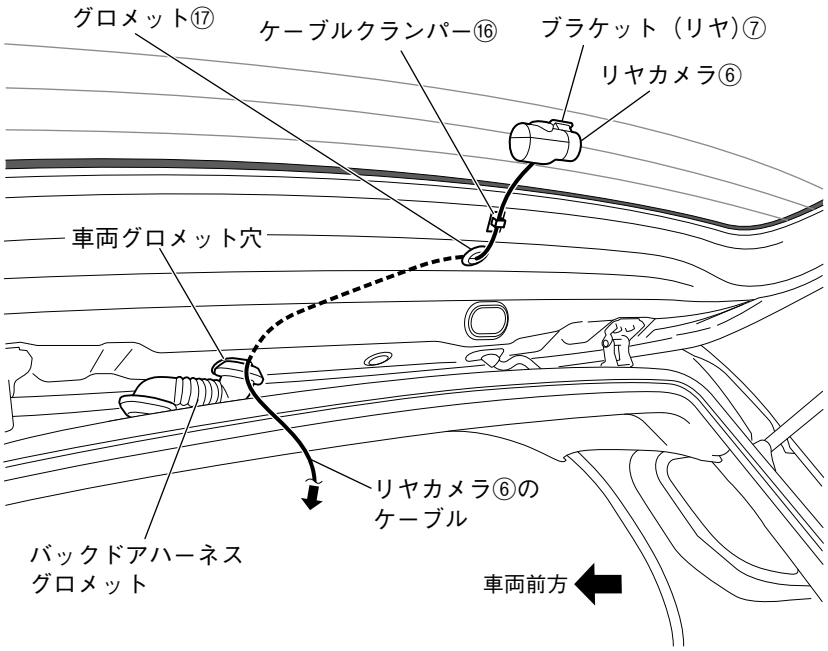
★部の束線バンド⑪は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）のコネクター先端から車両クランプまでを図示寸法に合わせて固定してください。この時、ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）は一緒に固定しないでください。

7. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）の余長を束ねて束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

- **ケーブルの余長はグローブボックスと干渉しないように固定してください。**
- **ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）はドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）と一緒に束ねたり、固定をしないでください。**

d. リヤカメラのケーブル配線　フロント・リヤセット



1. バックドアハーネスグロメットの両端をバックドア側および室内側から外します。
2. リヤカメラ⑥のケーブルを加工穴からバックドア側の車両グロメット穴まで通します。

注 記

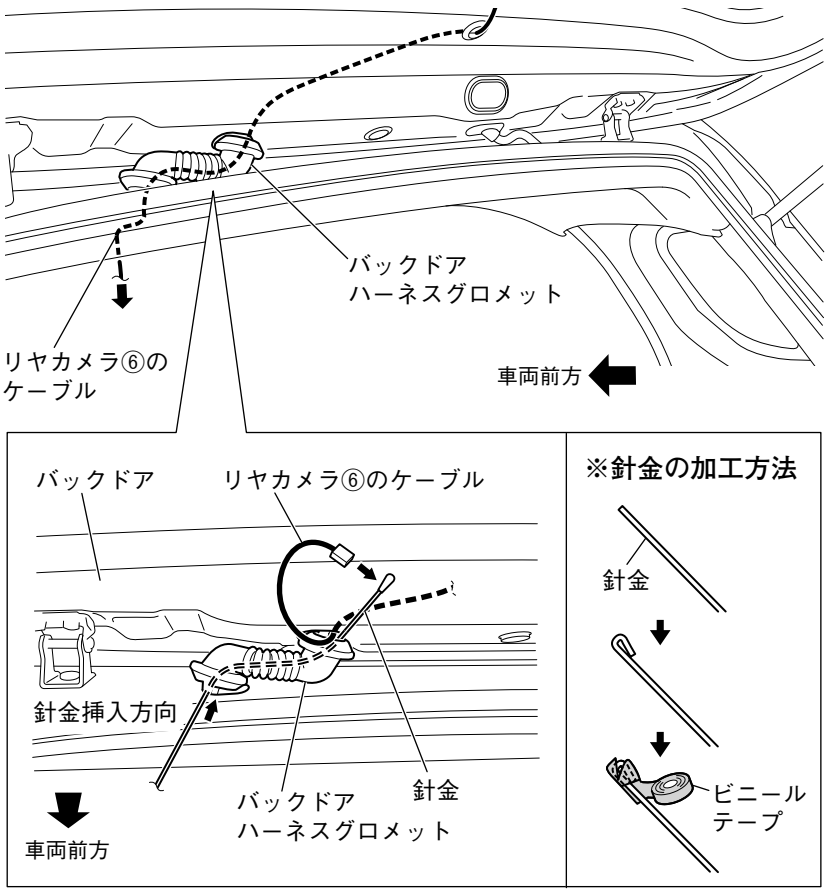
- **リヤカメラ⑥のケーブルがブラケット（リヤ）⑦の奥まで確実に押し込まれていることを確認してください。**
- **リヤカメラ⑥のケーブルは、配線作業中に引っ張ったりして、ブラケット（リヤ）⑦の奥から外れないようにしてください。**

3. グロメット⑰を加工穴に取り付けます。
4. ケーブルクランパー⑯でリヤカメラ⑥のケーブルを固定します。

注 記

- **ケーブルクランパー⑯貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（15℃以下）は、ケーブルクランパー⑯の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。**

<バックドア開口部>



5. 針金を使用してバックドアハーネスグロメット内にリヤカメラ⑥のケーブルを通し、室内側まで配線します。

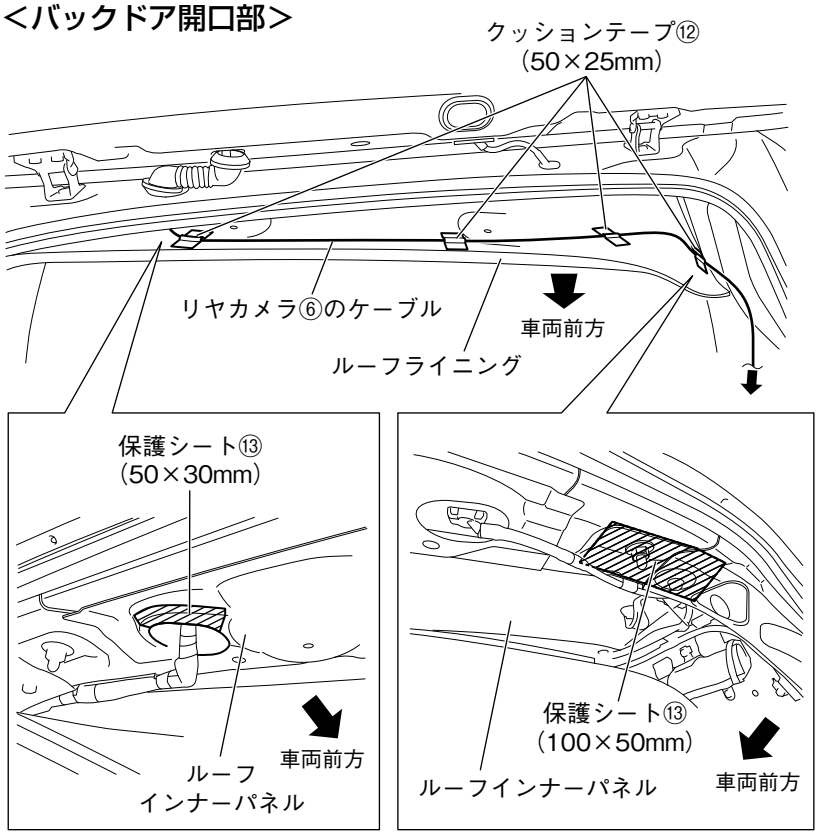
注記

- バックドアハーネスおよびリヤカメラ⑥のケーブル破損防止のため、無理に引っ張ったりしないでください。
- リヤカメラ⑥のケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターや端子に中性洗剤等がかからないようにしっかりテーピングしてください。

アドバイス

- 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- 折り曲げた側の針金をバックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- リヤカメラ⑥のケーブルのコネクターを針金にしっかりテーピングしてください。

<バックドア開口部>

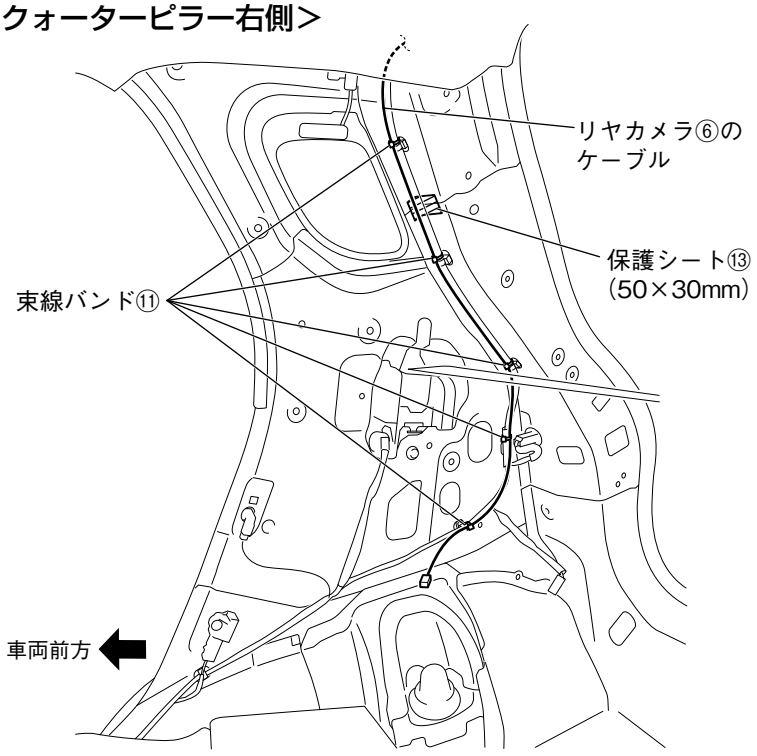


6. リヤカメラ⑥のケーブルをルーフライニングとルーフパネルの間に配線し、クッションテープ⑫でルーフライニングに固定します。

注記

- 図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。
- リヤカメラ⑥のケーブルやクッションテープ⑫がルーフライニングのクリップ穴等をふさがないようにしてください。

<クォーターピラー右側>



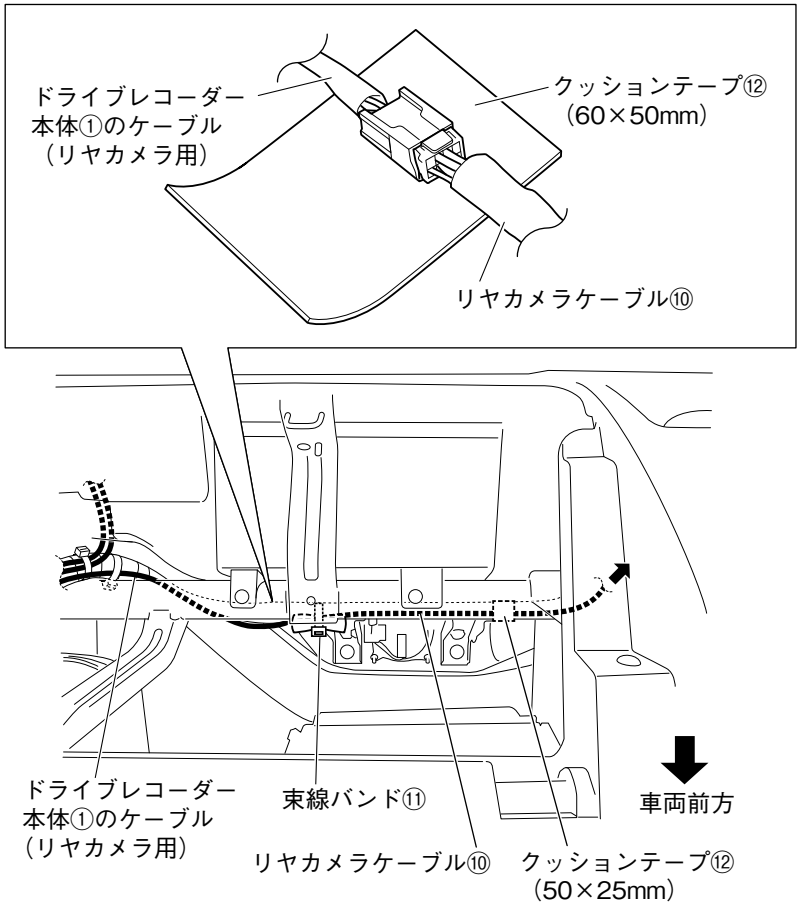
7. クォーターピラー右側のリヤカメラ⑥のケーブルを束線バンド⑪で固定します。

注 記

図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。

e. リヤカメラケーブルと電源ケーブルの配線 フロント・リヤセット フロントのみ

<グローブボックス取付部上側>

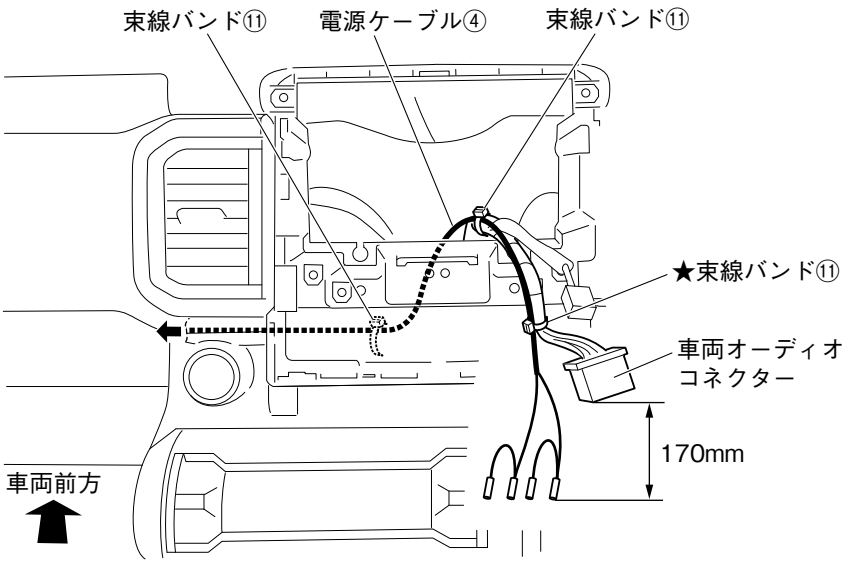


注記

「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）とリヤカメラケーブル⑩の配線作業はありません。

1. リヤカメラケーブル⑩をドライブレコーダー本体①のケーブルに接続します。
2. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
3. リヤカメラケーブル⑩をオーディオ開口部まで配線し、束線バンド⑪とクッションテープ⑫で車両ハーネスに固定します。

<オーディオ開口部>



4. 電源ケーブル④をグローブボックス取付部まで配線します。

注記

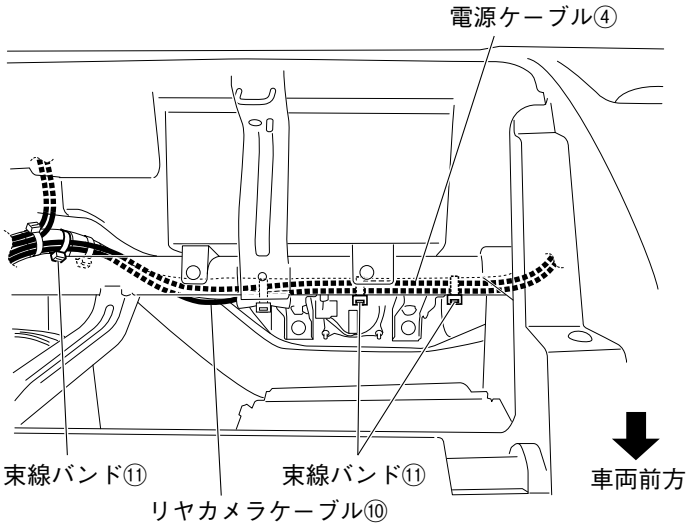
電源ケーブル④のアースコードもグローブボックス取付部まで配線してください。

5. オーディオ開口部の電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

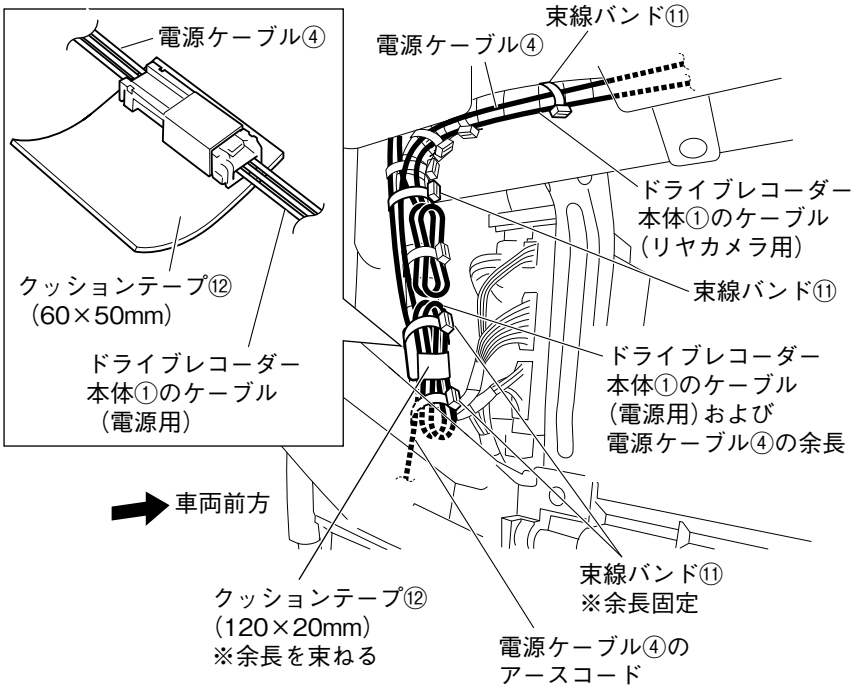
注記

★部の束線バンド⑪は、電源ケーブル④のギボシ端子先端から車両オーディオコネクター先端までを図示寸法に合わせて固定してください。

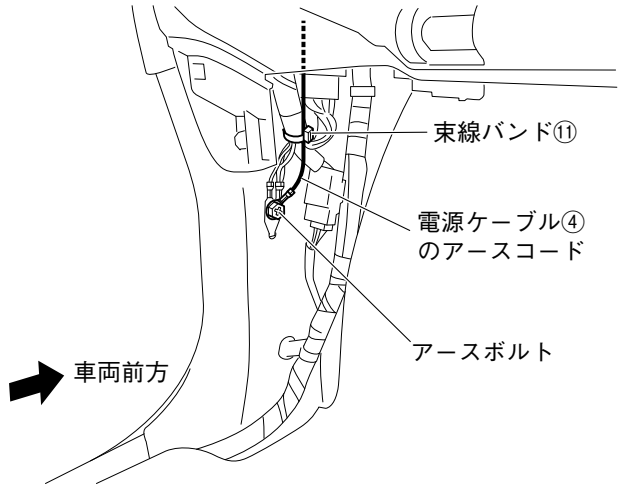
＜グローブボックス取付部上側＞



＜グローブボックス取付部左側＞



＜助手席足元左側＞



6. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④を接続します。
7. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
8. 電源ケーブル④のアースコードを図示位置のアースボルトまで配線し、共締めします。

注記

- **指定トルク値に従いアースボルトを締め付けてください。**
- **ボデーアースが確実にとれていることをテスターで確認してください。**
- **アース端子のエッジ部分が車両配線と干渉しない向きで固定してください。**

9. 電源ケーブル④のアースコードを束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
10. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）、電源ケーブル④およびリヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

グローブボックス取付部に配線しているリヤカメラケーブル⑩も一緒に固定してください。

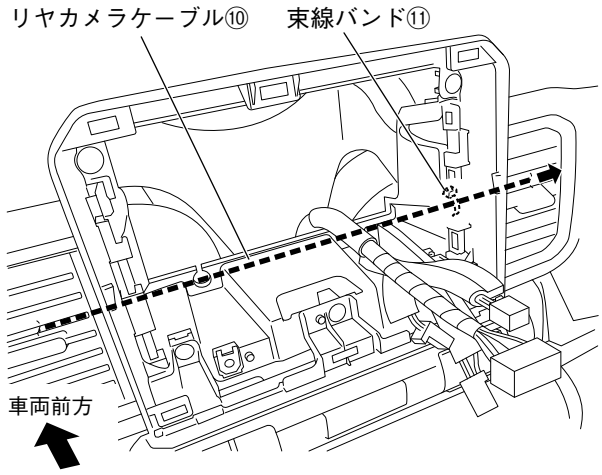
11. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

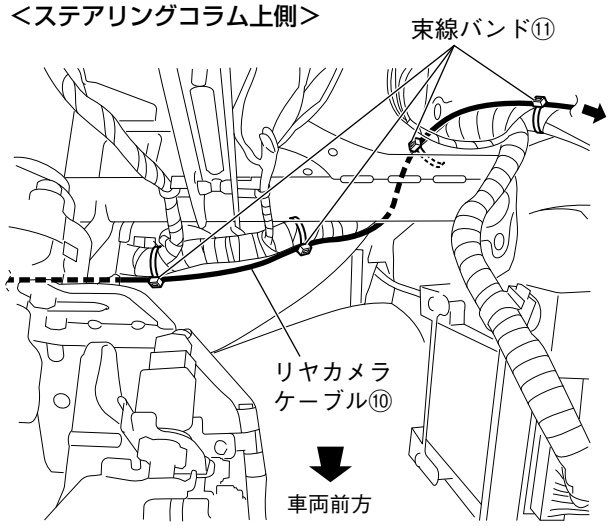
- **ケーブルの余長はグローブボックスと干渉しないように固定してください。**
- **ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長は一緒に束ねて固定してください。**

12. リヤカメラケーブル⑩をクォーターピラー右側まで配線します。
13. リヤカメラケーブル⑩をリヤカメラ⑥のケーブルに接続します。
14. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
15. リヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪とクッションテープ⑫で固定します。
16. リヤカメラケーブル⑩の余長を束ねて、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

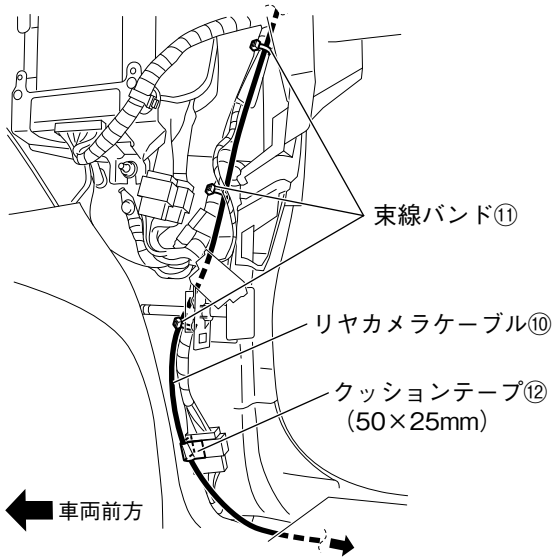
＜オーディオ開口部＞



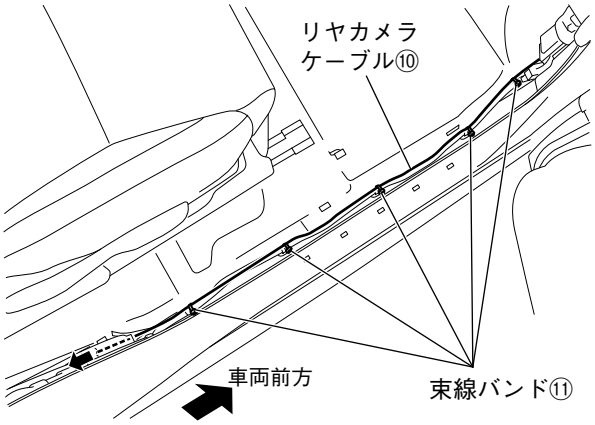
＜ステアリングコラム上側＞



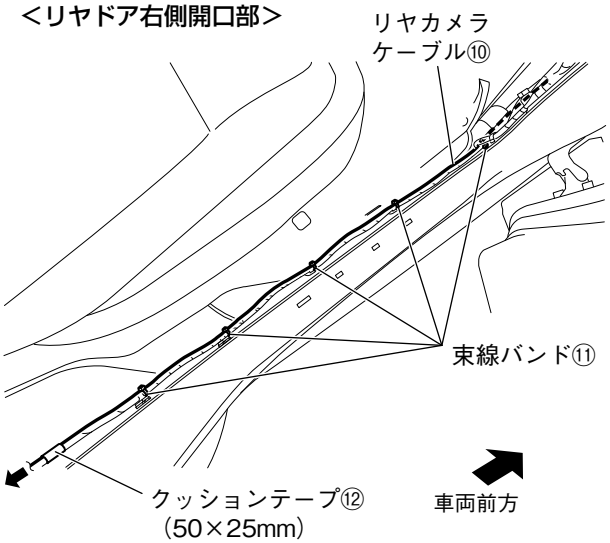
＜運転席足元右側＞



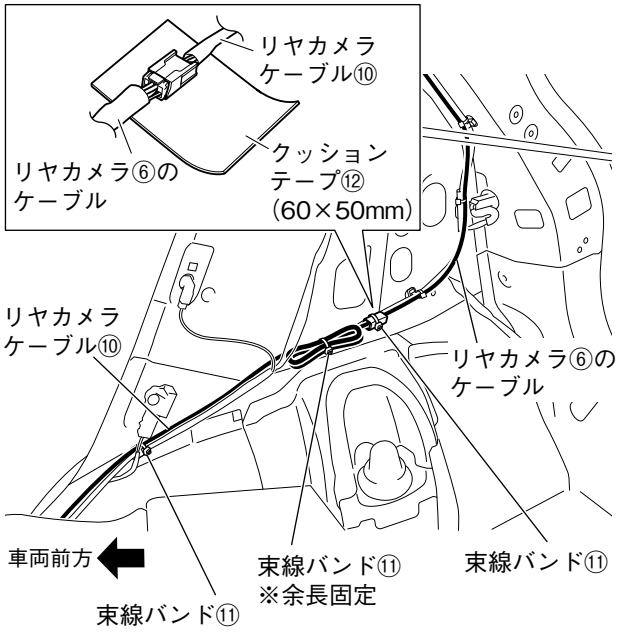
＜フロントドア右側開口部＞



＜リヤドア右側開口部＞

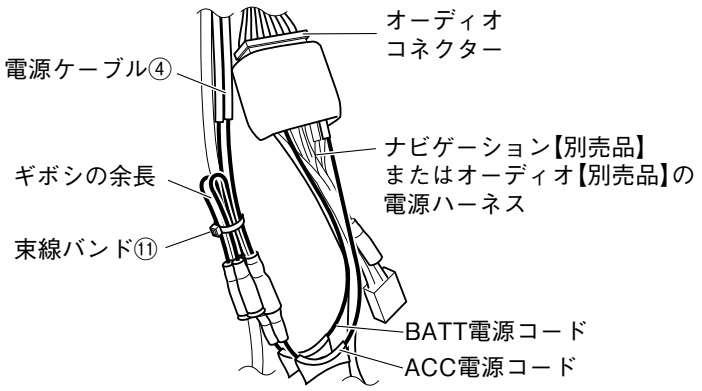


＜クォーターピラー右側 ＞



f. ＡＣＣ電源、バッテリー電源の取り出し要領

●オーディオコネクター部にギボシ端子がある場合



1. 電源ケーブル④のギボシ端子をナビゲーション【別売品】またはオーディオ【別売品】の電源ハーネスに接続します。ギボシ部の余長は、束線バンド⑪で束ねます。

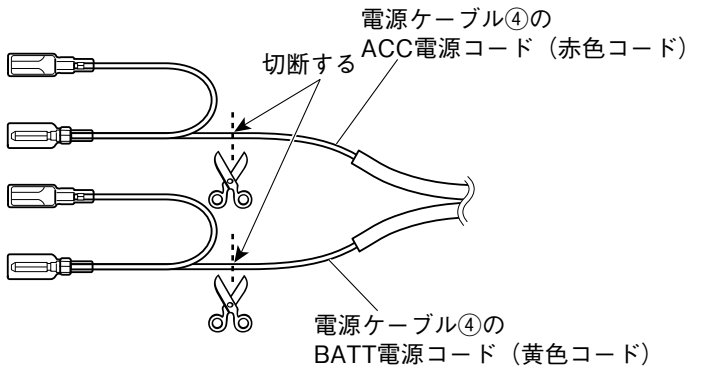
⚠警告

接続しないギボシ端子は、必ず絶縁テープを巻き付けてください。共通編の「結線図　■用品ナビ･オーディオと共着し、電源ハーネスに ACC/バッテリー電源のギボシ端子がある場合」を参照してください。

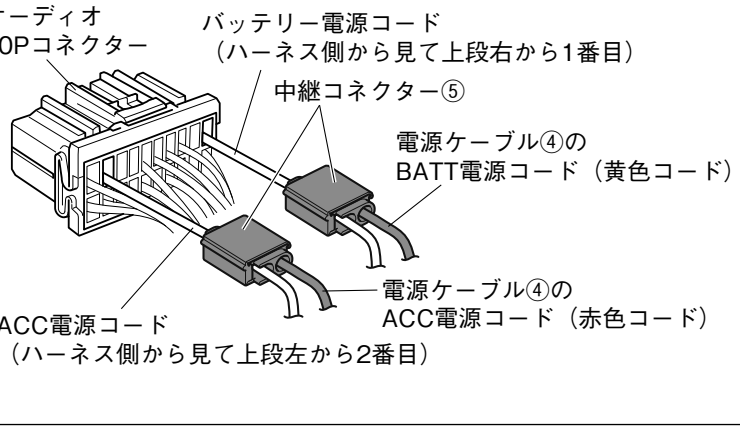
アドバイス

電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。

●オーディオコネクター部にギボシ端子がない場合



1. 電源ケーブル④の BATT 電源コード（黄色コード）および ACC 電源コード（赤色コード）先端のギボシ端子部を切断します。



2. オーディオ 20P コネクター（水色）のバッテリー電源コードに電源ケーブル④の BATT 電源コード（黄色コード）を中継コネクター⑤で接続します。
3. オーディオ 20P コネクター（水色）の ACC 電源コードに電源ケーブル④の ACC 電源コード（赤色コード）を中継コネクター⑤で接続します。

アドバイス

中継コネクター⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクターの使用方法」を参照してください。

5. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

・車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締め付けトルク等）
・取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
・オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。

注記　インパネセンターガーニッシュ復元の際、組み付け状態を確かめてください。
【組み付け状態確認方法】
意匠側からライト等でルーバー内を照らし、ルーバーとダクトのかん合状態を確認してください。
（ダクト先端部が見えている場合は正確にかん合されていません。）

● ネジの締め付けトルクが規定されている場合は、規定のトルクで締め付けてください。